

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様などの危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容をよく確認したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
 <b>警告</b>	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
 <b>注意</b>	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれのある内容を示しています。

製品破壊、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

### 運搬及び保管

-  **注意** ●本製品はパネル等にポリスチレンフォームを使用しています。硬質ポリスチレンフォーム材は無塗装の部分が長時間直接太陽光のもとに放置されると、紫外線により劣化する恐れがあります。屋外で長時間保管する場合は、必ず養生シートなどで覆ってください。
- 搬入や施工時の運搬はカド打ちに注意して下さい。傷、へこみ、破損の原因になります。
- 硬質ポリスチレンフォームは80℃以上になると変形します。高温の物や火気がない場所に保管してください。
- 当社プライマー（水性）は、凍結させないでください。凍結させると本来の性能を発揮できなくなります。

### 施工上のご注意

-  **警告** ●本製品の施工には専用の柱を使用してください。使用しない場合、反り・割れが生じる場合があります。
- 転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。
- 本製品の強度基準を超えた条件下でのご使用は避けてください。
-  **注意** ●正しく施工・組付をするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 本製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 本製品の材質はポリスチレンフォームを使用しています。施工時、有機溶剤の塗装、接着剤を使用すると溶解するおそれがあります。必ず塗料は水性塗料、接着剤は当社規格品または、当社推奨品を使用してください。
- 硬質ポリスチレンフォーム材同士を接着する場合  
[当社規格品] オプション接着剤セット [当社推奨品] (変成シリコーン系接着剤) コニシMPX-1
- 硬質ポリスチレンフォーム材に石材等を接着する場合  
[当社推奨品] セメダイン社 タイルエースPro/ニツタイ工業社 EY-21
- 現場塗装仕上の場合、部材間に隙間や段差が生じる場合があります。この場合、コーキング材にて隙間や段差をなくしてから仕上塗装を行ってください。塗装割れや段差の原因になります。
- コーキング材は必ず変成シリコーン系ノンブリードタイプを使用してください。
- 当社プライマーを現場にて塗布する場合、気温5℃以下での施工は避けてください。
- できる限り施工前に太陽光に当てないでください。部材が反ったり伸縮する恐れがあります。
- 落したり、物を当てたりしないでください。傷・へこみ・破損の原因となります。
- 車の排気ガスが直接当たる場所や、エアコンの室外機近くなど高温になる場所への設置はしないでください。変形や破損の原因になります。
- パネルを持つ際、汚れた手で触ると汚れが付いて落ちにくくなります。ご注意ください。
- 万が一、パネルに汚れ等が付いた場合は、中性洗剤を用いて柔らかいブラシ等で洗い流してください。
- 製品の特性上、本製品には色差・色ムラがあります。
- 柱ピッチは、800mm (W08の場合)・400mm (W04の場合) で施工してください。
- 現場塗装仕上用は下塗材（プライマー）塗装済、現場貼り仕上用は生地（プライマー）未塗装の状態でお届けされます。
- 基礎部のコンクリートには、急結材や海砂を使用しないでください。柱等の腐食の原因になります。

# INDEX

	〈現場塗装仕上用〉	〈現場貼り仕上用〉
INDEX	1	
梱包明細表	1	
スリット開口部の納まり図	1~3	
1.補強材の組付	3	
1.ベース材 W08・横棧 W08の加工	3	
2.補強材の組付	3	
2.PSパネルのスリット加工の手順(現場加工)	4~6	
1.スリット3スパンの場合(2スパンの場合も同様)	4~6	
3.照明・インターホンの配線及び取付	6	

## 梱包明細表〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

### スリット用補強材セット

名称 部材・部品		略図	員数			
			横棧~ベース材		横棧~横棧	
			2スパン	3スパン	2スパン	3スパン
補強材(□60)	L=572		1	—	1	—
	L=872		—	1	—	1
補強材・横棧金具(ステンレス)			1	2	2	2
補強材・ベース材金具(アルミ形材)			2	1	—	—
φ4×13トラスドリルネジ			8	8	—	—
M4×14特サラネジ			2	2	4	4
φ4×12トラス3種ネジ			2	2	4	4
取付説明書			1			

### 塞ぎ板セット(開口部現場加工共通部材)

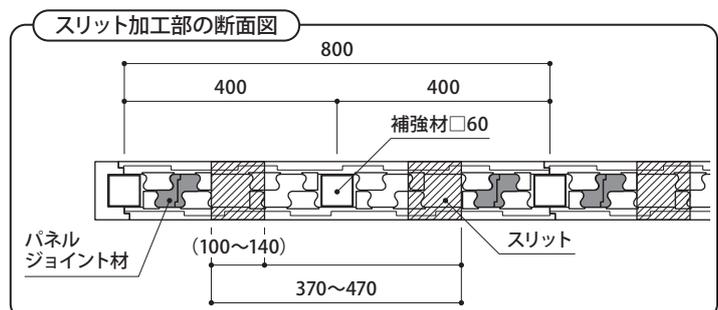
名称 部材・部品		略図	員数
開口部用塞ぎ板L=1000			1
コースレッドネジL28			18(予備4)
取付説明書			1

## スリット開口部の納まり図〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

- ①スリット数はW08に2か所です。柱の間隔が400mmの場合は1か所になり、補強材は不要です。
- ②右図のようにスリット幅は100~140mmにしてください。
- ③右図のようにスリットの間隔(端~端)は、370~470mmの範囲にしてください。

#### ご注意

転落の危険性のある所にはスリット加工はしないでください。

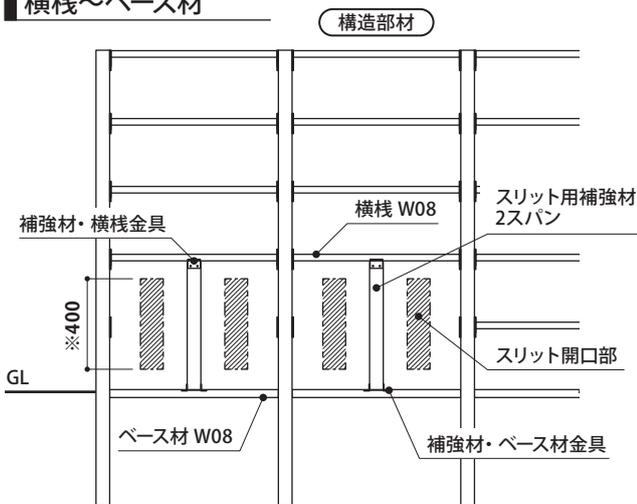


# スリット開口部の納まり図〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

## スリット加工 (2スパン)

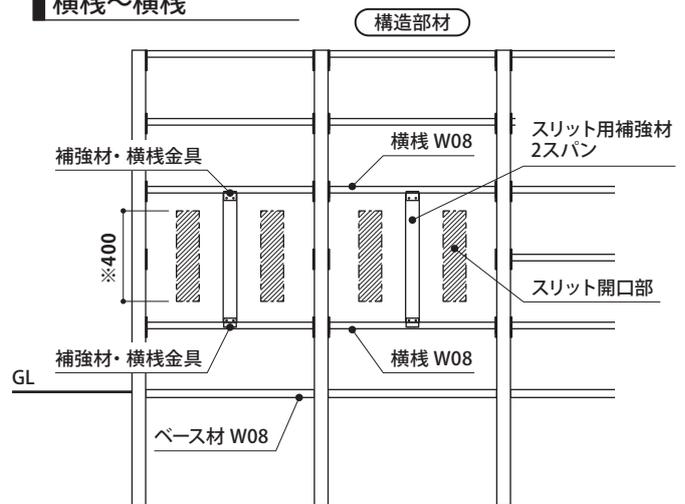
※スリット長さは400mm (P.4参照) よりも長くしないでください。

### 横棧～ベース材



上図のように、スリット部分の横棧は取り付け不要です。

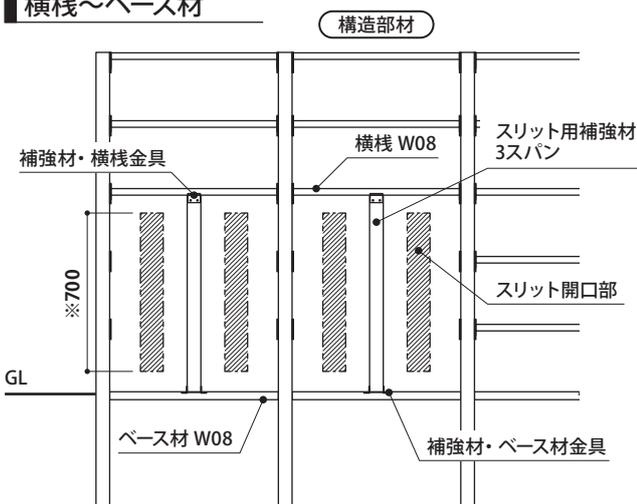
### 横棧～横棧



## スリット加工 (3スパン)

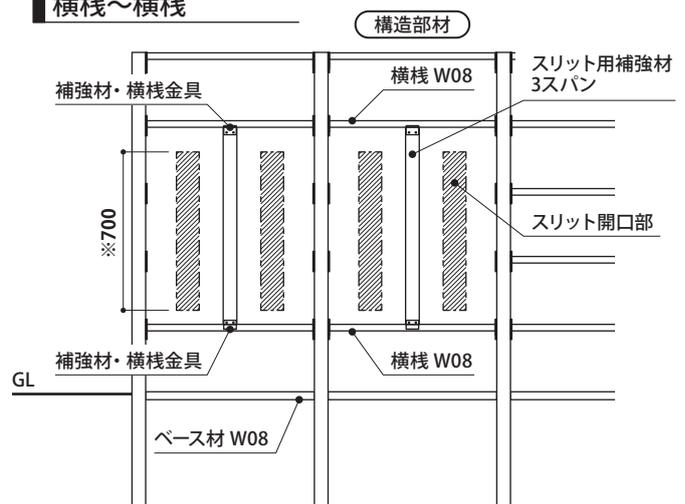
※スリット長さは700mm (P.4参照) よりも長くしないでください。

### 横棧～ベース材

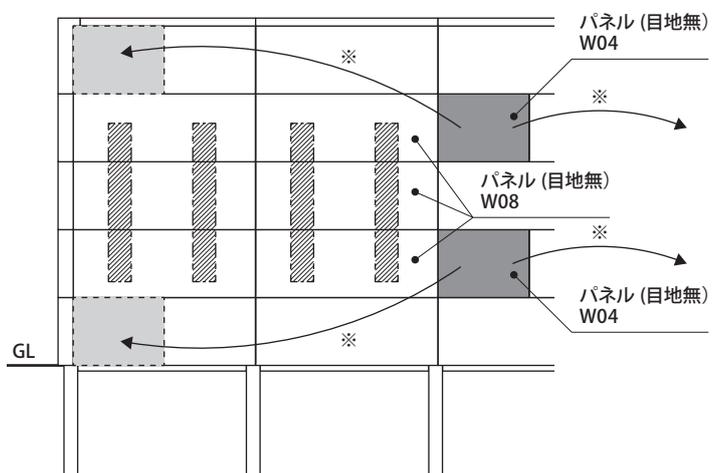
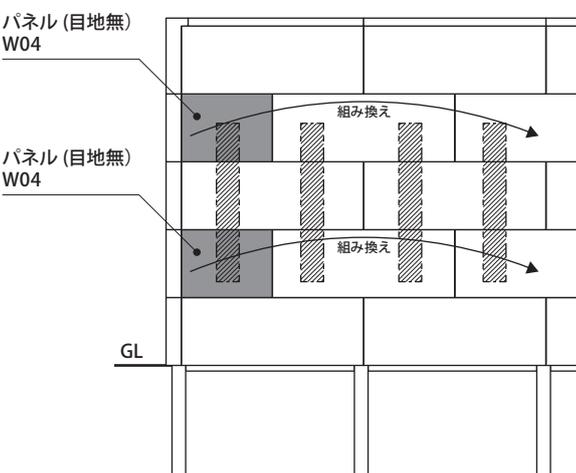


上図のように、スリット部分の横棧は取り付け不要です。

### 横棧～横棧



## W12以上の場合 (スリット部分のパネル組替え)

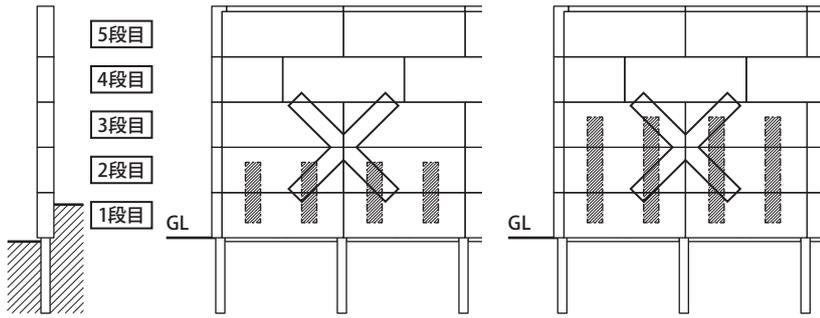


W12以上のサイズはPSパネルを千鳥張りに取り付けますが、スリット加工の場合はパネルの組み替えが必要です。上図を参考にPSパネルを取り付けてください。

※さらにスリット加工を連続させる場合はパネルW04を横、もしくは下段にずらしてください。

# スリット開口部の納まり図〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

## 片側埋込みの場合



### で注意

片側埋込みの場合は、1段目のパネルからスリット開口部の加工はできません。2段目以上のパネルからスリット開口部の加工を始めてください。

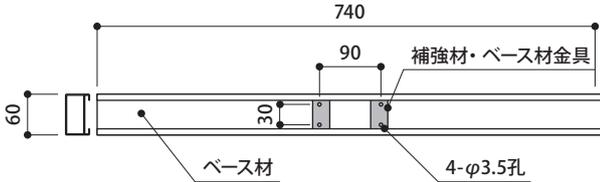
## 1.補強材の組付〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

### 1.ベース材W08・横棧W08の加工

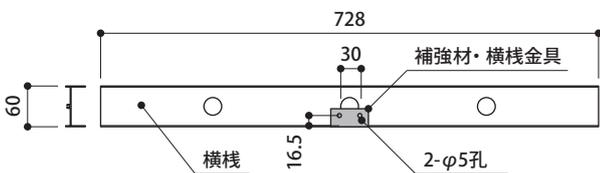
①スリット用補強材を取り付けるベース材または横棧に、下図を参考にして孔加工を行ってください。

#### スリット加工（横棧～ベース材）の場合

①ベース材の中央に、φ3.5の孔を4ヶ所あけてください。

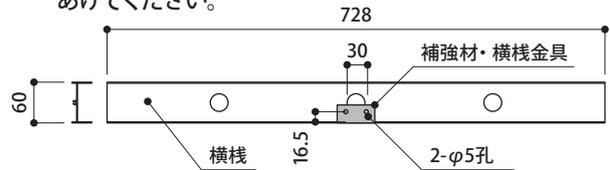


②補強材の上の横棧の中央に、φ5の孔を2ヶ所あけてください。

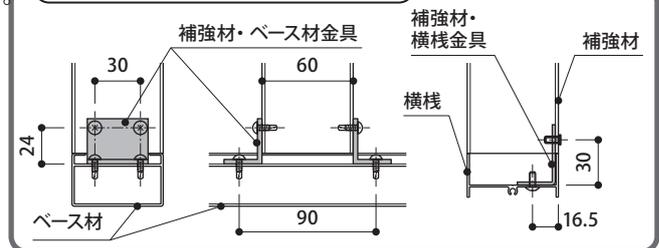


#### スリット加工（横棧～横棧）の場合

①補強材を組み付ける上下の横棧の中央に、φ5の孔を2ヶ所あけてください。



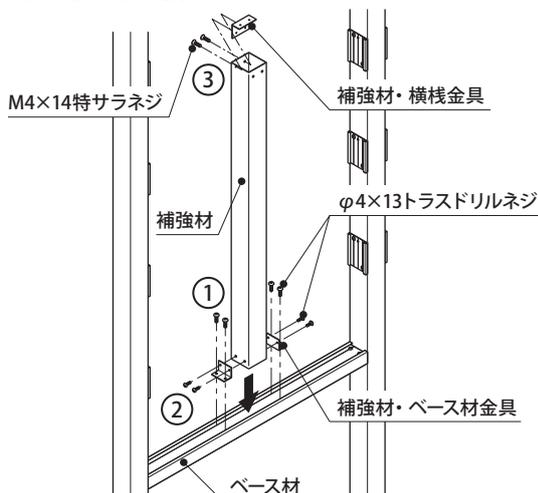
#### 補強材とベース材・横棧の組付詳細図



## 2.補強材の組付

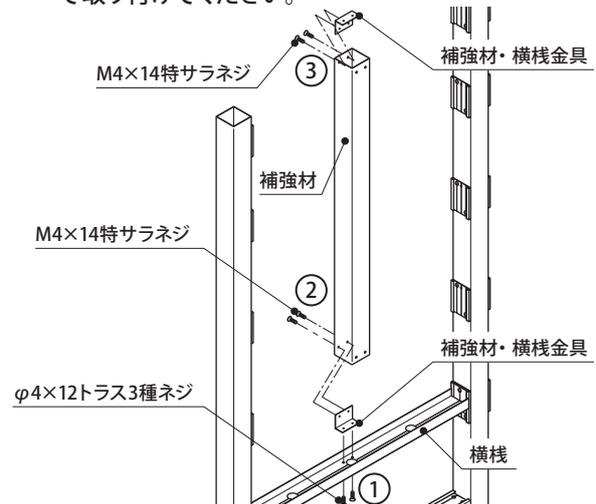
### スリット加工（横棧～ベース材）の場合

- ①ベース材に補強材・ベース材金具を、φ4×13トラスドリルネジで取り付けてください。
- ②補強材を補強材・ベース材金具に、φ4×13トラスドリルネジで組み付けてください。
- ③補強材の上部に補強材・横棧金具を、M4×14特サラネジで取り付けてください。



### スリット加工（横棧～横棧）の場合

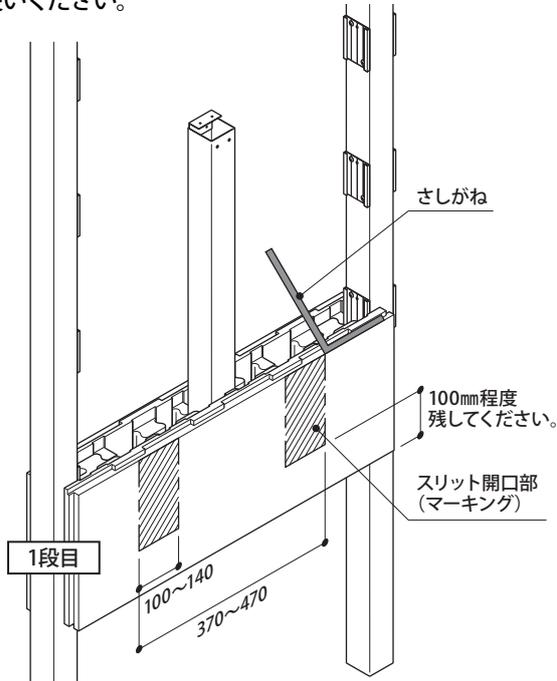
- ①横棧に補強材・横棧金具を、φ4×12トラス3種ネジで取り付けてください。
- ②補強材を補強材・横棧金具にM4×14特サラネジで組み付けてください。
- ③補強材の上部に補強材・横棧金具を、M4×14特サラネジで取り付けてください。



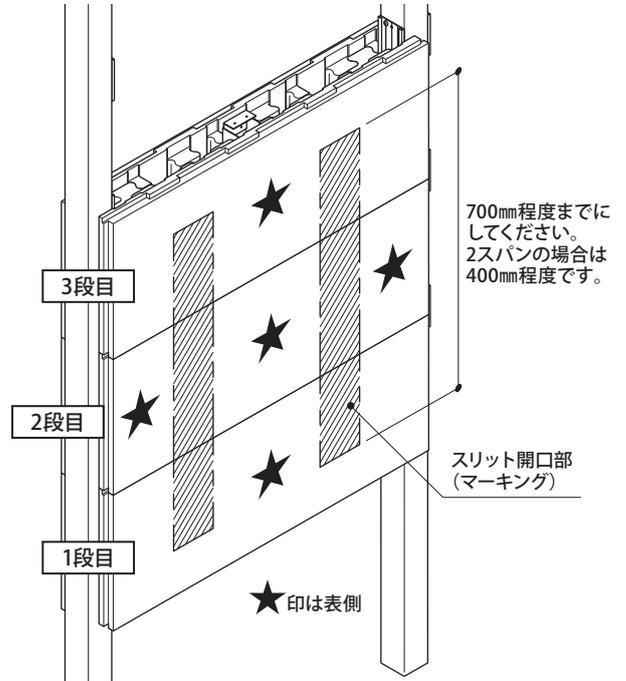
## 2.PSパネルのスリット加工の手順（現場加工）〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

### 1.スリット3スパンの場合（2スパンの場合も同様）

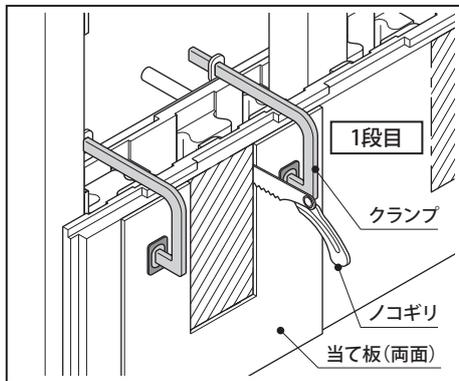
- ①1段目のPSパネルを組み付けて、下図のようにスリット開口部の位置をマーキングしてください。  
裏面にも同じ位置にマーキングしてください。  
表裏のマーキング位置を揃えるためには、さしがね等をお使いください。



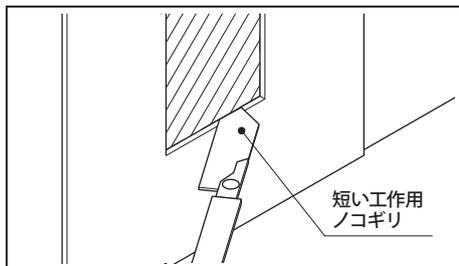
- ②・3段目を仮積みし、1段目のマーキングに合わせて下図のように2・3段目にマーキングしてください。  
同様に裏面にもマーキングしてください。



※カット後の組み立てのため、パネルに表裏の区別の印を付けてください。



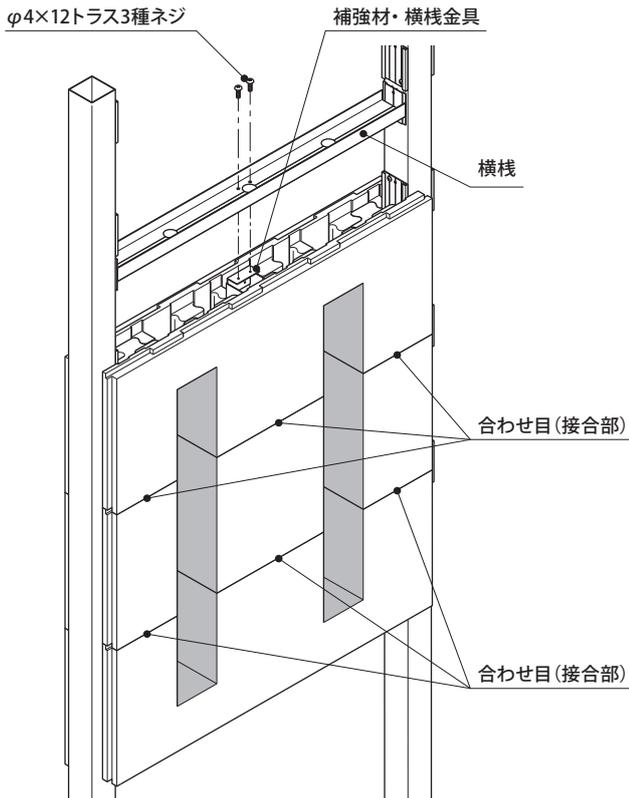
- ③1段目のPSパネルへ、スリット開口部のマーキングに合わせて当て板を両面に当て、クランプ等で固定してください。  
当て板にそってノコギリ等でパネルをカットしてください。



狭い部分のカットは、短い細工用のノコギリ等で両面から切り込みを入れカットしてください。  
切り取った後のカット面は塞ぎ板を貼り付けるため、ヤスリやペーパーで平らに仕上げてください。

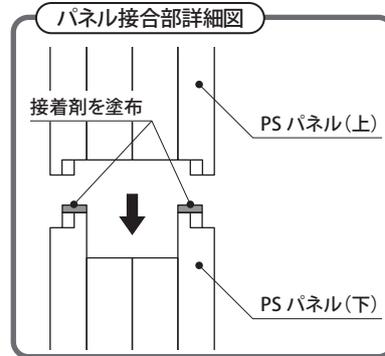
スリット3スパンの場合、2段目のカット方法はマーキングに当て板を使い1段目と同様にカットしますが、3分割になります。  
スリット2スパンの2段目、スリット3スパンの3段目は1段目と同様のカット方法です。

## 2.PSパネルのスリット加工の手順（現場加工）〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

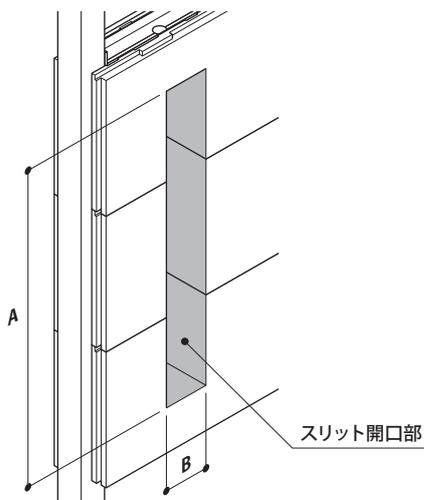


- ④カットしたPSパネルを、1段目から順番に積み上げてください。  
PSパネルの表裏の向きはカット前と同じにしてください。  
カット前に表裏の区別の印を付けておくと、判断が楽にできます。

PSパネルとPSパネルの合わせ目（接合部）には、接着剤を塗布して貼り合せてください。（下図参照）



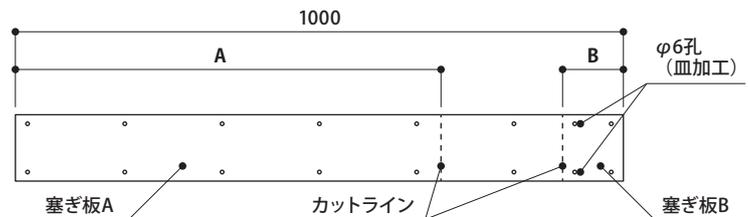
- ⑤カットしたPSパネルを全て積み上げ後、上から横棧を差し込み、横棧を補強材・横棧金具にφ4×12トラス3種ネジで取り付けてください。  
横棧と柱の固定は、本体の取付説明書をご覧ください。



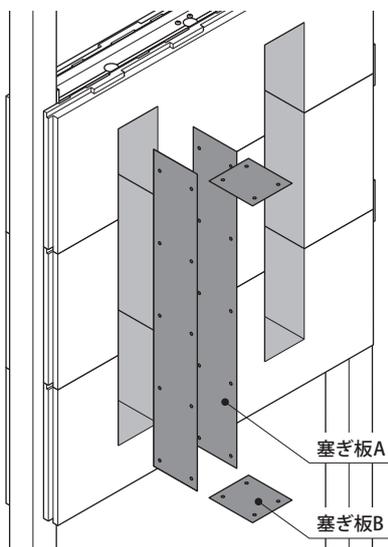
### ⑥スリット開口部用塞ぎ板の組付

スリット1か所で開口部用塞ぎ板は2枚必要です。  
※スリットの周囲の長さが合計1m以下ならば1枚です。

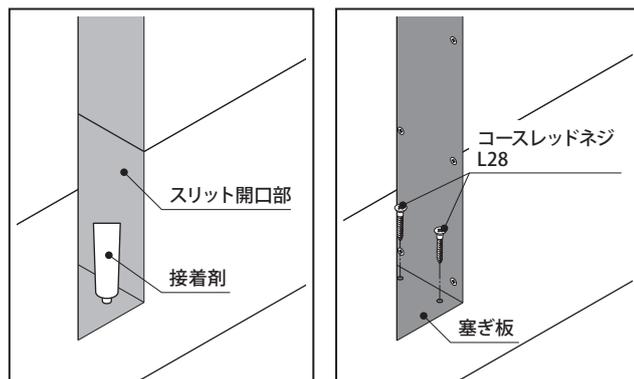
スリット開口部のA・B寸法を測ってください。  
開口部用塞ぎ板をA・B寸法でカットしてください。  
必要に応じてφ6孔(皿加工)を行ってください。



開口部用塞ぎ板

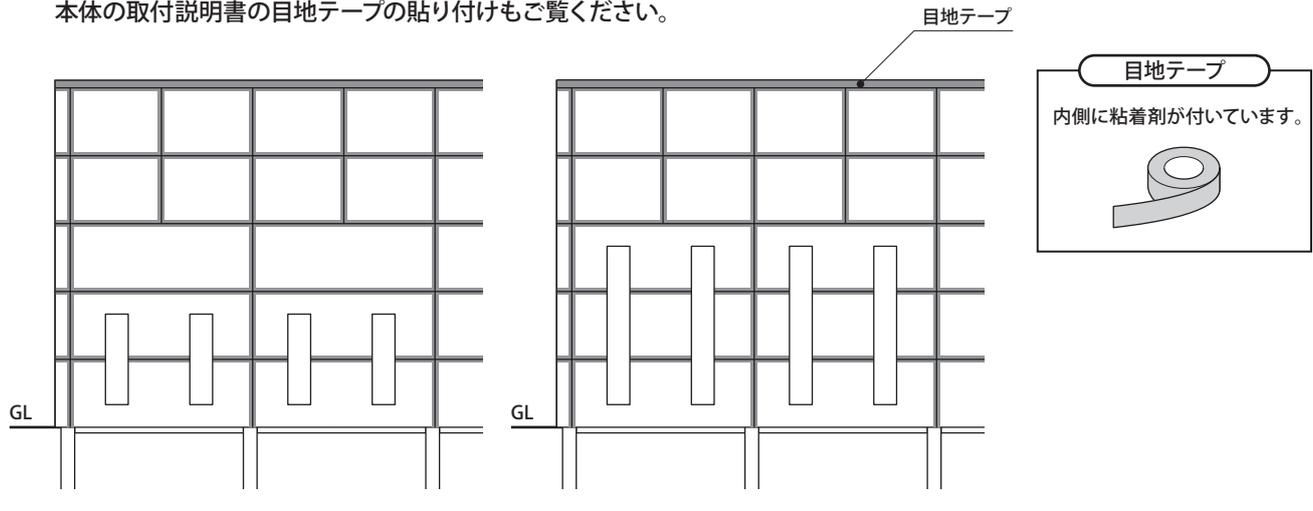


- ⑦スリット開口部の側面に接着剤を塗布して、塞ぎ板を貼り付け、コースレッドネジL28で固定してください。



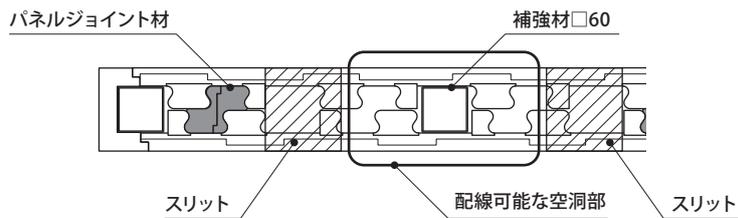
## 2.PSパネルのスリット加工の手順（現場加工）〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

- ⑧スリット加工部の接合部には、目地テープをしっかりと貼り付けてください。  
本体の取付説明書の目地テープの貼り付けもご覧ください。



## 3.照明・インターホンの配線及び取付〈現場塗装仕上用・現場貼り仕上用共通〉

- ①配線は本体組み付け時に同時に行ってください。（本体組み付け後では、配線できません。）  
配線スペースがスリット加工により制限されます。ご注意ください。  
詳しい配線方法は本体の取付説明書をご覧ください。



**EXIS** 株式会社 **エクシス**